

連携ファミリーサポート（CFS） 消費者・家族向けファクトシート

CFSとは何ですか？

CFSは、家族と同居することを選択した発達障害の成人の方を特に対象とした新しいサービスです。CFSは、「家族の住む家で生活することを選択した成人消費者が利用できるサービスが不足している」という、家族の方々から頂いたご意見に応じて生まれました。

CFSサービスは、サービスを受ける方およびその家族／介護者のニーズや希望の変化に合わせて、個別に柔軟に調整されます。

CFSが提供する支援

CFSは、ご本人と家族の方が受けるサービスの連携と計画を支援することを目的としています。CFSは、ご本人と家族の方が診断について詳しく知って将来の計画を立てるお手伝いをするとともに、受けられる可能性のある他のサービスを利用する方法を案内することができます。また、支援する方々がご本人や家族の方への支援に適切に対応できるように、研修を実施することもできます。移動手段を特定したり、通常のプロバイダーが利用できない場合のために代替りのプロバイダーを見つけたり、地域のセルフ・アドボカシー団体について情報を得たりすることについても、CFSがお手伝いします。CFSの提供は、お使いの言語で、文化を尊重する形で行われます。ご自身が、CFSサービスの計画と調整に参加することができます。

CFSを受けられるのはどのような人ですか？

CFSの対象は、家族と同居して地域センターからサービスを受けている成人（18歳以上）です。

CFSに申し込むにはどうすればよいですか？

家族と同居していてCFSを必要とする場合は、地域センターのサービスコーディネーターに知らせてください。サービスコーディネーターは、CFSがどのような形でご本人と家族の方を支援したらよいかを判断するため、IPPチームミーティングを計画します。CFSを紹介された場合、CFSプロバイダーがご本人と家族の方にお会いし、CFSを利用してどのようなことを達成されたいかについてお聞きします。CFSプロバイダーは、ご本人・家族の方とともに、支援が必要なサービスは何か、またCFSプロバイダーがどのように支援するかを特定する計画を作成します。



CFSアンケート調査

発達障害サービス局は、CFSがご本人や家族の方をどう支援しているかについて情報を得たいと思っています。そこで、サービスの開始直後と、サービスを受けている期間中1、2回程度、ごく短いアンケートに記入をお願いしています。これは、CFSがご本人や家族の方の役に立っているかどうかを発達障害サービス局が知るために活用されます。

